

株式会社木の里工房 もっくん 木薫

ヒアリングと試作品製作による顧客開拓を推進

保育園のヒアリングと試作品の製作



実施背景

知人や既存客頼みの営業に限界

同社の営業は知人や既存客からの紹介を中心に行っている。新規の保育園が増加する中、今までの営業方法では限界があり、新規顧客開拓や商圏拡大、販売方法などに関する具体的な営業戦略が必要になってくる。そこで保育園の多い首都圏を対象に、ニーズの把握のためのヒアリングと、要望を踏まえた試作品の製作を通じて新規顧客の開拓に結び付ける。

実施内容

ヒアリング、試作、モニタリングを実施

首都圏の場合、ビルの一室が保育園だと園庭がない。近所の公園で園庭のある保育園の園児と一緒に遊んでいると、運動能力が劣っていることに気づく。そういう話が製作のヒントに繋がる。園庭があっても狭い場合はコンパクトな遊具のニーズが高く、移動できるものがいいという話が出る。そこから試作品が生まれる。イベントに遊具を持参してモニタリングも行った。

事業成果

小型の複合遊具などの販売成果も

ヒアリングをもとに試作品を製作し、販売に結び付いた製品がある。滑り台、木登り、はしご、ボルタリングなど複数の遊びができる小型の複合遊具にブランコを付け加えた新製品を2台販売した。そのほかにも両側から開けることができ、引っ張りすぎても落ちない引き出し式の可動ロッカー、大型の絵本が置ける絵本棚などが販売に繋がり、成果が生まれている。



企業から一言

お客様の声を聞くことが大切。そこから新たな製品づくりが見えてくる

今回の事業を通じて、時間をかけてお客様の話を聞くことの重要性を改めて実感。お客様の声を大切にして、製品という形にしなければなりません。試作品は販売品ではなくても見本になるもの。それゆえ高い意識で製作する姿勢を持つべきだと教わりました。子どもの遊具は、スリルやドキドキに繋が

る想定可能なリスクは残し、想定できない危険は排除しなければなりません。そのさじ加減が難しいところです。新製品を生み出し、結果を出すことが目標。社員を増やして、村の「百年の森林構想」にも貢献していきたいですね。

代表取締役 國里 哲也

■ 山林の間伐材で、保育園向けの木製遊具を製作・販売

株式会社木の里工房木薫は平成18年に設立。自社で地域山林の間伐作業を行い、間伐材を使って保育園向けの木製遊具、玩具、保育家具を製造し、直接保育園に販売している。社内で企画からデザイン、製造、販売まで一貫して手がけ、東京、岡山、大阪、兵庫を商圏に200以上の保育園と取引がある。営業を含め社員全員が森林作業を行うことで、実際の経験に基づいた木の知識を収集しており、その点が顧客と接する際の大きな強みといえる。保育園向け木製遊具の市場には20社以上が参入しているが、国産間伐材で大型遊具を製作している企業となると数えるほどしか

ない。同社では形や機能面でオーダーに対応ができることと、安全対策・安全設計に対する点で評価が高い。直接顧客と対話を重ねながら製作してきたからこそ蓄積できたノウハウといえる。待機児童の解消に向けて、今後も保育園は増設される。一方で同社の営業は知人や既存客からの紹介が中心。より効果的な営業を進めるには新規顧客開拓や商圏拡大のための戦略が必要である。そこで保育園の多い首都圏を対象に、ニーズを把握するためのヒアリングと、要望に基づく試作品の製作を開始。新製品の開発とともに顧客開拓に結び付ける。



事業者の概要

代表者名	國里 哲也
設立年月	平成18年7月
所在地	〒707-0504 岡山県英田郡西栗倉村長尾739-5
TEL/FAX	TEL.0868-79-7330 FAX.0868-79-2916
URL	http://www.mokkun.co.jp/index.html
資本金額	2,000万円
従業員数	12人
業種	家具・装備品製造業（保育家具）
事業計画名	間伐材で出来た保育家具、木製遊具の価値の見える化と新規顧客獲得、商圏拡大